

NEWS!!

# “人”が主役の大樹ローカルマガジン はじまります！

宙に夢を架けるまち・大樹町の魅力発見マガジン

Taiki  
Local  
Magazine

## ソラユメ\*

年4回  
発行

フリー  
ペーパー

創刊号は  
12月発行！



編集部員&カメラマン  
募集してます！

ソラユメを一緒に作って  
くれる仲間を募集しています。  
一緒にコンテンツを考えたり、  
取材にいったり記事を書いたり  
します。気になる方は  
☎6-2114 神宮司まで

地域おこし協力隊は

きょうも行く！



半年間、町のいろんな人とお話ししていて気付いたことがあります。  
“この町で育ったのに、町のことぜんぜん知らなかった！”  
子どものころは、何もない、おもしろくないと思っていた大樹町も実は  
おもしろい人やおいしいもの、知らなかった風景がたくさんありました。  
住んでいても、知らないことって実はたくさんあるのかもしれない。  
そんな大樹の素敵！をみんなで再発見していくべく、協力隊が中心とな  
って大樹町の魅力をギュギュッと紹介するフリーペーパーをつくること  
にしました！

ふるさと納税好調！

## 2週間で300件以上の注文！ リニューアルしたふるさと納税が大人気です！！

10月1日にパワーアップした大樹町のふるさと納税が、前年度を大きく上回る勢いで伸びています。大樹町のHPでは生産者さんのこだわりを紹介するページで生産者さんインタビュー等もご覧いただけます。町外在住のご家族やご友人にぜひご紹介ください！

《人気はチーズや生ハムです♪》



「協力隊活動レポート！」

○こんにちは！

現在大樹町で活動している協力隊4名のうち、2名がSTEP（南十勝長期宿泊体験交流協議会 会長 酒森町長）で子ども交流事業を担当しています。大樹町の自然や文化の魅力を子どもたちの体験活動を通して、発信しています！

○STEP秋キャンプは「木育」にも取り組みました！  
STEP秋キャンプを10月10日〜12日に実施しました。今回のキャンプのキーワードは「木育」です。9月に行われた柏林公園まつりでは木育ブースが設置され、木板を利用し、MY看板を作った方もおられるのではないのでしょうか。

木育と聞いて皆さんはどのような取り組みを想像しますか？「木を育てること」が想像されやすいのではないのでしょうか。木を育てることも木育の一面ですが、木陰で休む、森の役割を調べてみる、まき割りをして暖をとる燃料として使う、なども木育です。

○木育とは  
木育とは「子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取り組みで、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかわりを主体的に考えられる豊かな心をはぐくむこと」です。

木育とは「子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取り組みで、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかわりを主体的に考えられる豊かな心をはぐくむこと」です。



木琴も木育！



薪の火で焼きマッシュマロ♪



削り馬に挑戦！



どこまでいけるかな

○木育マイスターとは

得意分野（森林・自然ガイド、木工など）を持ち、それぞれの経験を活かしながら「人とのつながり」により様々な木育活動を組み立てる人材を木育マイスターと呼びます。所定の研修を終了すると、「木育マイスター」として北海道に認定・登録されます。ちなみに現在、大樹町には3名の木育マイスターがいます。1名は協力隊員の中村（去年認定！）、そして安保は現在木育マイスター研修を受けています！

○大樹町でも木育！

日本は森林大国で、大樹町は約7割が山林面積です。町の木「柏」はタンニンが取れて、昔は漁の網に使われていたと資料で見ました。また、晩成温泉も木質バイオマスエネルギーが使われているなど、木が生活と関わっているのを知ったり、葉の色がきれいに変わっていく姿を見ていて、素敵だなと感じています。

身近にあるけど素敵な「木」についてもっと触れ合えるきっかけを「木育」を使って、作っていったらいいなと思っています！

北海道の木育紹介サイト  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sf/sky/mokukiku/meister/top.htm>  
（地域おこし協力隊 中村・安保）